

栗駒山の  
水をめぐる  
お話

# 須川の 豊かな水をめぐる 登山マップ

「栗駒山」は、岩手では「須川岳」  
秋田では「大日岳」とも呼ばれています。

## 7 地獄釜



須川高原では明治19年から三井鉱山が正式に硫黄採掘を開始しました。その採掘現場のあまりの過酷さから『地獄釜』と呼ばれるようになったのが名前の由来。

須川岳と一関市中心部の飲料水との関係は専門機関の調査はしていないので断言が出来ませんが、砂防・治山関連を除き「一関（磐井川関連）」にはダムがないという意味が須川岳が「水瓶」であるという意味の他に、中和力も素晴らしいということもお伝えしておきます。

群馬 草津温泉・秋田 玉川温泉 等の排水は、ダムで多額の費用をかけ中和しています。草津温泉関連の「品木ダム」は主目的が「中和」ですが、「玉川ダム」は、かんがい用水や上水道などの水の安定供給も目的としています。つまり、ダムがなくても年中水が安定供給されさらにその水は須川温泉水含めかなりの量の酸性水が含まれているにも関わらず下流部に来るまでに自然の力で中和され市民の飲み水として使われていることは素晴らしいことであると併に、絶対にこの環境を破壊してはいけないと再認識し守り伝えていきたいと思っておりますので、皆様も気持ちの中だけでも結構ですのご協力いただけたら幸いです。

須川高原へは東北自動車道一関ICより約60分

## 1 須川ビジターセンター



栗駒登山の玄関口。栗駒国定公園に関する生態系や成り立ちなど、様々な情報がわかりやすく展示しており、一度立ち寄るだけで栗駒国定公園の知識が網羅できます。

## 4 展望台



『名残ヶ原』を一望することができる高台。岩の割れ目からは、豊富な水が地熱によって熱された水蒸気が吹き出しています。温かいいわに座ってみてはいかがでしょうか？最初の休憩スポットに最適！

## 8 ゼッタ沢（酸性）



酸性の水質の川が流れる沢。赤みを帯びた石と蒼々とした植生の色彩の迫力あるコントラストが印象的。苔花台分岐から比較的急な段差があるため、足元に注意して進んでください。

## 11 磐井川源流エリア（中性）



一関市中心部を流れる『磐井川』の源流。ゼッタ沢、三途の川、湯尻沢なども全てこの川と合流し一関市中心部を流れ飲み水となり『北上川』と合流します。

## 2 須川高原温泉源泉（強酸性）



pH 1.7 の高い酸性値を持つ源泉。湧出した源泉は川となって「湯尻沢」に流れているが、自然の力で下流域では中和され飲み水として利用されている。

## 5 名残ヶ原（中性）



四季を通し、豊富な水で高山植物を楽しむ大湿原。鉱夫達が院内街道を一関に下る際、おいらが名残惜しく見送った場所であることからこの名がついたといわれています。

## 9 三途の川（酸性）



名前の由来は、須川湖の水を飲み、三途の川で力尽き果てた人が多い。この川の水を飲みなくなった人がいる。などの説があります。不純物も多いため飲めません。

## 12 笹森避難小屋



笹森ルートの目的地。秋には『神の絨毯』と呼ばれる紅葉の絶景ポイント。標高1355mで平成13年に出来た。現在閉鎖されている『笹森コース登山道』は須川登山の表参道です。

## 3 おいらん風呂



水蒸気風呂（蒸し風呂）。温泉の硫黄臭を嫌うおいらんが入ったため「おいらん風呂」と言われています。須川温泉売店で専用のゴザを購入して入浴してください。蒸し太郎も待っています。

## 6 賽の嶺



火山性ガスが発生しているエリアのため、植生がほとんどなく、荒涼とした山肌が特徴。火山性ガスが普段あたらないエリアには植生があり、コントラストが印象的です。低い場所で立ち止まったり、しゃがんだりしないでください。

## 10 産沼（酸性）



過去の火山活動により生じた沼。は山頂ルートと笹森避難小屋へのルートとの分岐点。6月頃の溶け始めたブルーの水がとてもきれい。

## 13 産女川源流エリア（中性）



きれいな水が湧いて『産女川』となるエリア。少し下流で2008年の『宮城・岩手内陸地震』の際『大崩落』が起き現在も治山工事が進められている。巖美町本寺で磐井川と合流する。

**のんびり歩く『須川散歩』  
足を伸ばして『笹森避難小屋』**

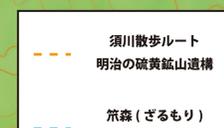
須川高原の良いところ『須川散歩』は1時間半程度、須川の水を肌で感じるゆっくり歩いて片道2時間程度の『笹森(ざるもり)避難小屋』までの水めぐり

**豊富な水が温泉や自然を守っています。**  
 栗駒山は奥羽山脈のほぼ中央に位置しており宮城、岩手、秋田の三県にまたがります。宮城では栗駒山・岩手では須川岳・秋田では大日岳とも呼ばれています。標高1126mの須川温泉は毎分6000ℓと言われる豊富な温泉の湧出量が特徴です。川や温泉、沼なども豊富でそれらの水が多様な高山植物を支えています。須川温泉は強酸性ですが、ふもとの一関温泉郷の泉質は、中性・弱アルカリ性と違った泉質を楽しめます。須川の水と温泉の関わりを感じてください

- 【凡例】**
- ①~⑬ コースポイント
  - 黄色い線 おすすめコース
  - トイレ
  - P 無料駐車場
  - バス停
  - キャンプ場
  - 県境
  - 注意ポイント!
  - インフォメーション
  - 源流エリア



**分岐に注意**  
 地獄釜へ進む場合は分岐を右側へ進んでください  
 ※案内板がないのでご注意ください



須川散歩ルート  
 明治の硫黄鉱山遺構

笹森(ざるもり)避難小屋ルート

酸性

酸性

酸性

酸性

強酸性

中性

中性

中性

中性

中性

中性

中性

中性

強酸性

強酸性